事業損益	50,262,566	520,089,198	292,523,414	△ 4,477,326	858,397,852	19,049,171	877,447,023
Ⅱ　総資産							
未成受託研究	127,951,177	322,924,705	—	—	450,875,882	—	450,875,882
建物	1,347,042,333	7,678,463,369	18,244,317	453,696,002	9,497,446,021	1,929,839,046	11,427,285,067
工具器具備品	513,452,484	1,712,163,885	5,897,087	961,399,932	3,192,913,388	277,432,561	3,470,345,949
土地	—	4,724,693,214	—	—	4,724,693,214	—	4,724,693,214
その他	18,159,060	189,998,572	86,221,790	10,324,898	304,704,320	3,999,405,149	4,304,109,469
計	2,006,605,054	14,628,243,745	110,363,194	1,425,420,832	18,170,632,825	6,206,676,756	24,377,309,581

(注)1．区分の方法

独立行政法人医薬基盤研究所中期計画に基づく区分によっております。

2．各区分の主要な事業内容

⑴　基盤的技術研究

ゲノム科学、たんぱく質科学など急速に進展する基礎研究の成果に基づき、多くの企業・大学等が新たな医薬品等を開発する際に活用できる共通的・普遍的な技術の研究事業を行っております。

⑵　難病・疾患資源研究

医薬品・医療機器の開発に欠かせない遺伝子、細胞、実験動物など研究現場で必要とされている生物資源を開発するとともに、様々な生物資源を収集・保全し、研究現場に安定的に供給するための研究事業を行っております。

⑶　研究開発振興

研究開発振興業務は、医薬品・医療機器の開発につながる可能性の高い基礎的な研究を国立試験研究機関や大学等に研究委託を行い、その成果を広く普及させるための業務を行っております。また、投資の回収が困難な希少疾病の医薬品等の開発研究を企業等に助成金として交付し、指導、助言等を行うための業務を行っております。

⑷　創薬支援事業

アカデミア等における研究成果を医薬品の実用化につなげるための支援事業を行っております。

3．各区分の損益外減価償却相当額及び損益外除売却差額相当額は以下のとおりです。　（単位：円）

	基盤的技術研究	難病・疾患資源研究	研究開発振興	創薬支援事業	計	法人共通	合計
損益外減価償却相当額	103,141,377	516,070,757	—	17,428,535	636,640,669	144,885,187	781,525,856
損益外除売却差額相当額	—	570,207	414,524	—	984,731	—	984,731
計	103,141,377	516,640,964	414,524	17,428,535	637,625,400	144,885,187	782,510,587

4．各区分の引当外賞与見積額及び引当外退職給付増加見積額は以下のとおりです。　（単位：円）

	基盤的技術研究	難病・疾患資源研究	研究開発振興	創薬支援事業	計	法人共通	合計
引当外賞与見積額	1,438,160	2,204,271	△ 676,928	△ 8,844,222	△ 5,878,719	1,857,881	△ 4,020,838
引当外退職給付増加見積額	692,674	3,059,111	953,255	294,319	4,999,359	4,941,459	9,940,818

5．前中期目標期間繰越積立金の取崩を財源とする費用の発生額は以下のとおりです。　（単位：円）

	基盤的技術研究	難病・疾患資源研究	研究開発振興	創薬支援事業	計	法人共通	合計
前中期目標期間繰越積立金取崩額	5,249,004	9,102,743	926,915	0	15,278,662	3,642,356	18,921,018

6．法人共通の総資産のその他については、主に総務部において管理している現金及び預金3,902,425,673円です。